

第2回岩倉市総合計画審議会での委員からの質問事項及び市の回答

資料1

	該当部分	質問事項	回答
1	資料1 (成果と課題)	「市民活動支援センター登録団体数が増加」とありますが、実際、登録団体の方々がどのような形で地域社会に貢献されているかが分かりません。	市民活動支援センター登録団体は、市民プラザの特定の施設を使用するための登録であり、その行為そのものが、地域社会に貢献するためのものではないため、市の方でもそうした把握はしていません。申請の際は活動内容を、更新の際は活動実績を報告していただいています。こうした団体が地域社会への貢献につながる活動をしていただくことは、大変重要なことで、今後の課題と認識しています。
2	資料1 (成果と課題)	「地元・地域における人間関係の良さがここ10年で高まった」とあり、一方で、「近所づきあいがあまりない・まったくないという市民が33.9%と少なくない」とありますが、どのように理解すればよいのでしょうか。	いずれも市民意向調査の結果となりますが、「地元・地域における人間関係の良さが高まった」のは、「まちの魅力」についての設問に対する結果の経年比較であり、「近所づきあいがあまりない・まったくないという市民が33.9%と少なくない」のは、今回調査で新たに設定した近所づきあいの程度についての設問に対する結果です。まちの魅力としてのポイントが上がっていることを考えれば、ご近所だけでない地元・地域の人のつながりがあり、面積が小さいだけでなく人間関係の距離も近いという本市の特徴がわかる調査結果だと考えています。
3	資料1 (成果と課題)	「地域力の弱体化」とありますが、団体に人が集まらない中、それぞれの活動について、例えば、防災であれば防災に興味のある市民に対して市が呼びかけを行って、防災のボランティア活動を行うといったことが考えられます。こういったことなどを市はお考えになっているのでしょうか。	特定の分野に興味がある方をその活動につなげることは大変重要で、防災に限らず、福祉や観光など各種講座を行っていますし、継続した活動につなげるための仕組みとして「まちづくりネットワーク」により、手伝ってほしい団体と手伝いたい個人をつなげる取組を行っています。
4	資料1 (まとめ等)	基本理念は一定程度達成できたとあるが、具体的にどれくらいなのか。確かに、市民活動支援センターの登録団体数の増加などがありますが、一方で、地域活動の担い手不足や老人クラブの会員減少などの課題が出ており、役立ち感に満ちた市民社会をめざすとしていることに逆行しています。このことから、基本理念の達成はできていないのではないのでしょうか。弱体化を止めるため、どのように対処していくのかといったことをしっかり議論する必要があると思います。	資料1で提示したとおり、市として取り組める条例制定などの仕組みづくりは、しっかりと行い、市民活動支援センター登録団体の増加などにより、基本理念は一定程度達成できたとしていますが、具体的な数値でお示しすることはできません。基本理念における「役立ち感に満ちた市民社会」は、地域社会に自分なりの役割や関わりを持つことでつながりを生み、そのつながりから生まれる役立ち感に満ちた社会を指していますので、地域活動の担い手が不足する状況により、基本理念が達成できなかったということではないと考えています。ご意見のとおり、課題である地域の弱体化に対し、市ができること、市と市民の皆さんと一緒に取り組むこと、市民の皆さんに取り組んでいただくことをしっかり議論していくことが重要です。
5	資料2 (基本目標5)	桜並木について、岩倉には約1,400本の桜があるといわれていますが、桜の処理費が1本30万円ほど掛かると聞いていますので、その辺りの費用をどのようにお考えになっていますでしょうか。	五条川桜並木の保全再生は大きな課題であるとしていますが、その財源の確保も大きな課題となります。樹木の大きさにもよりますが、桜に限らず、剪定や伐採には、多くの費用がかかります。作業にかかる人件費などに加えて、処分や安全対策にも費用がかかります。市としては、市の一般財源を使うだけでなく、ふるさといわくら応援寄附金の使途に桜並木の保全プロジェクトを加え、市外の方にも桜並木を保全するために寄附を募り、財源確保に努めています。
6	資料3	ここに示されている実績評価について、進捗はしていると思いますが、成果は伴っているのでしょうか。	成果も含めて評価を行っていますので、伴っていると考えています。
7	全般	アンケートの回収率が少ないということで、アンケートの結果がどこまで参考になるのか疑問です。満足度はあいまいなものなので、どの程度参考になるのかも疑問です。	今回の回収率は32.2%で、25%でも統計的分析に耐えられる標本数を得ることができるよう設計を行っているため、経年分析も含め統計学的にも問題はありません。満足度においても同様です。
8	全般	第4次総合計画の時、中心市街地はどこかの問いかけに、駅前とのことでしたが、現在、駅前の賑わいはあるのでしょうか。	賑わいを測るのは難しいですが、この間、民間開発において、駅西地区では大規模店舗のリニューアルが行われ、駅東地区では、住宅と商業の複合地区としての利用が進み、計画期間中に飲食店を中心に新たな店舗の進出がありました。
9	全般	総合計画では住み良いまちづくりが先で、費用の問題を後回しにしていますが、財政力を強くする取り組みも必要ではないのでしょうか。	財政力を強くする施策として、基本施策で財政運営、その下位の単位施策で安定的な財源の確保を掲げて取り組んでいます。一方で財源の裏付けは、実効性を担保するための事業方針を示す実施計画にて行っています。また、具体的な取組としては、川井野寄工業団地の整備などの企業誘致やふるさといわくら応援寄附金による財源確保などを行ってきました。

第5次総合計画策定に向けて検討すべき意見（第2回意見）

にぎわい・人口	<ul style="list-style-type: none"> ○岩倉を代表する桜をこれからも大切にしていかななくてはいけない ○桜通線の整備と併せて沿道を整備することでまちの賑わいにつながるのではないか ○ライフタウンを目指すには昼間人口を増やすことが今後の大きな課題である ○岩倉市としては何か特色を打ち出さないと人口が増えていかない ○企業の新規開拓をしなければ雇用は増えず、就業場所がなければ人口も増えない ○事業所が増えることは、働く場が増え、その周辺に住宅が増えることになる
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ○農地をばらばらに転用するのではなく、工業団地という形で事業所を一定の場所に集中させるほうが良い ○市費で市街化区域内農地を避難場所として利用することが避難場所のシステムとなる 地震の場合は復旧に時間もかかり、住宅の建設も必要となるので災害緑地制度が必要 ○これからの岩倉のために守るべき農地を守りつつ農地を有効に活用すべき
地域コミュニティ	<ul style="list-style-type: none"> ○若い世代の近所づきあいが希薄とあるが、付き合い方がわからないだけで皆が声かけするなど応援することが必要で、それが地域力 ○まちや社会は家庭が集まって成り立っているので家庭力が大事である ○訪問看護が増えていて家庭で介護ができることが理想である 家庭での介護を阻んでいるのは仕事であるが働き方を変えることでいろいろな問題が解決できる 今まで通りにやるのではなく、大きな理念やビジョンを皆で共有して進むのが良い ○近所づきあいを良くするには、世話をやく人やそういった関わりの持てる組織があれば良い ○学校の空き教室を利用し、高齢者が子どもたちの世話をすることで、役立ち感につながる
団体	<ul style="list-style-type: none"> ○会員の減少よりも会員の高齢化と新しい会員が入ってこないことが心配である 新しい人が入ってこない理由は、我々の時代とは考え方が変わってきたから ○皆のためになる活動をする団体を支援し、趣味的な集まりの団体を支援すべきではない ○行政が企画する講座により、既存団体につなげる施策が必要である ○健幸都市宣言をしたので、内容を実践している団体に対して、支援、応援ができるボランティアの組織づくりを検討すべきである
保育・教育	<ul style="list-style-type: none"> ○保育の質が問われる時代、他市町にはない特徴のある保育の仕組みづくりを検討してはどうか ○「家庭力」は教育と密接な関係があり、家庭が安心するには、子どもを取り巻く環境を整えることが大事である 岩倉の学校に通わせれば大丈夫と思えるように岩倉の長所を活かした教育を行う ○岩倉を出て生活すると岩倉の良さが分かるので幼児教育の段階から郷土愛を培うべき
防災	<ul style="list-style-type: none"> ○ハザードマップの改訂など災害を切り口として市民を巻き込んではどうか ○災害から市民の財産を守るということに着目すべき
施設	<ul style="list-style-type: none"> ○小中学校のプールは年間10時間の授業のために維持しているが民間に委託した方が良い ○公共施設については、費用の面から民間企業との連携が必要である ○車で行くことができ、子どもを安心して遊ばせることができる公園や施設が必要である ○図書館に行くにも駐車場が少ない、人が集まる所には必ず駐車場が必要である
その他	<ul style="list-style-type: none"> ○総合計画に呼びやすいサブタイトルを付けると良い